

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		JIN KIDS				公表日	2026年 3月 18日
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		9	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	4	・療育準備を職種関係なくスタッフ皆で行うようにしている ・ケア児の多い時は、看護スタッフを多めに勤務して貰うようにしている	・療育スタッフの人数が少なく、特定のスタッフに負担がかかってしまっているため、療育スタッフの増員を優先的に行っていききたい	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		9	0	・ワンフロアに集結され見守りも出来、全体を見渡せる環境にあり、安全面での不安はない ・玩具が子どもの目につく場所に配置されており分かりやすい		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7	2	・集団活動をする際には、座位保持椅子を使用して、皆で行えるようにしている ・季節の行事などは、生活介護スペースで生活介護の利用者さんと一緒に行うなどしている ・支援後には毎日掃除を使用した物フロアなどの消毒を行っている	・移動の困難な利用児もいるため、同室内でおむつ交換を行わないといけないのが現状であり、改善方法が見つからない(パーテーションでは仕切っている) ・窓がない為、感染症が流行する時期は不安がある	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7	2	・マットの配置の工夫や座位保持椅子の使用によって、個々のスペースは確保されている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		9	0	・日々の振り返りを毎日MTG時に行っている事で情報共有は出来ている ・振り返りをしっかり行う事で意見が言いやすく、聞いて貰いやすい環境にある	・振り返りは行えているのだが、その先の改善にまでつなげる事が出来ない課題もある
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9	0	・評価表以外にも、管理者を通じて保護者の意見等は共有し改善に努めている ・スタッフへの情報提供があり、改善のための意見交換や話し合いを行なっている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9	0	・ミーティングなどで相談や話し合いを設け、職員で改善に努めている。また随時何かあれば管理者やスタッフに相談できる環境にある ・ミーティングを行い、業務について意見がある時は共有をしている	・スタッフ皆との面談等実施出来ていらず、皆の意見等吸い上げる事が出来ない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	6	・第三者評価は実施しておりません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		9	0	・外部研修を受講した際には、その内容等の情報の共有をしている	・体制的に難しく、外部研修に頻回に行く事が難しい現状がある
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		9	0	・事業所内にも掲示して、皆が見る事が出来るようにしています ・HPでも公表しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		8	1	・保護者面談時にニーズの確認をして、支援計画の作成を行っています	・ケースによってはニーズに応じた支援が出来ていない部分もあるので、ニーズをスタッフ間で再共有していく
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		8	1	・個別のケースカンファを行い、スタッフ全員で情報の共有をしている ・療育面、看護面で情報を共有し作成するよう心がけている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		8	1		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	・利用児の些細な変化など報告し確認している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・本人支援を中心に計画を作成 ・家族支援も重要と考え、保護者の意向に沿うようにしている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	・療育スタッフが主で行っているが、看護スタッフにも相談されている ・困った子事は他職種間でも話し合うようにしている	・療育スタッフの人数が少なく、負担がかかってしまっている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・季節を取り入れたり、年齢、本人の出来る事に着目した活動を考えるようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・集団活動であっても、個々に参加の仕方、実施の仕方は検討するようにしている	・個のニーズに合わせた活動の実施が出来ていない
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・前週に来週の活動についてミーティングを行い、やり方やスタッフの動きなどの確認を行うようにしています	・長期休み等は毎週ミーティングを行う時間が取れない為、スタッフ皆で話し合う事が出来ない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	・早急に伝えるべき事は当日に話し、翌日のミーティングで必ず個々の活動の状況を報告し次回の活動に活かすようにしている ・振り返りに参加出来なくても、議事録で確認する事が出来る	・一部では話し合いはあるが、全員に共通認識をして話し合う場、時間がない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・カルテに活動の様子を記載。振り返りが出来るようにしている。MTG時の振り返りでも、支援内容の話しをするようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・6ヶ月に1回モニタリング、個々のケースカンファで支援計画の見直しを行っています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	2	・活動の中で個々に確認をし、選択をする機会を設けるようにしている ・自己表現が困難な児も多いが、児の些細なしぐさや表情などから汲み取るようにしている	・重心児ではなかなか反応を汲み取る事が出来ず、こちらが決めてしまっている事も少なからずある
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・主に児童発達管理責任者が参加している	・療育スタッフや看護スタッフも一緒に参加出来るようにしていきたい
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・家庭状況等緊急を要する場合には、関係機関との連携をとるようにしています ・嘱託医と月1回情報共有を行っています ・同法人内の訪問介護とも連携をとっています	・主治医や協力医療機関等との情報共有が出来ると望ましいと思う
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・保護者を通じて、学校の情報は共有して貰っています。児の様子や体調については、学校お迎え時に担任から共有して貰っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	・必要に応じて担当者会議の実施を、相談支援専門員に依頼している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	・必要に応じて担当者会議の実施を、相談支援専門員に依頼している	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	・センター実施の研修等に参加、スーパーバイザーに研修の依頼をするようにしています		

連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9	・外出やお買い物などで、地域と交流できる機会の設定はしています	・利用児の特性から、地域の児童との交流は難しいと考えています
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	7	・法人の代表が参加している	・スタッフへの情報の共有が必要
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎時に子どもの様子を口頭で伝えたり、保護者から聞いた事はすぐに共有するようにしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	9		実施に向けて検討していきたいと思います
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・主に管理者、児童発達管理責任者が実施している	・他スタッフにも内容の共有が必要
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・年度始めにフェイスシートの記入を依頼するとともに、面談等で聞き取りと確認を行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・半年に1回説明を行い、同意を得るようにしている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・家族からの相談には速やかに応じ、必要に応じて面談の実施をしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	9		・保護者やきょうだい児が交流出来るような行事等の計画を、今後実施に向け検討していきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・苦情については管理者が謝罪、スタッフ間で共有し、対策を考えるようにしています ・スタッフ間で統一出来るよう、スピーディーに具体策が提示されている	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎月のお便りの発行、またSNSでの事業所の紹介など行っています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・保護者とは送迎時やメールや電話等、密に連絡を取るようになっています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9	・同じ町内の他事業所施設に、遊びに行ったりしている	・地域との交流方法について検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		・家庭への周知と保護者向けマニュアルの策定が、まだ実施出来ていない
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・定期的な災害訓練の実施をしています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・毎年度当初にフェイスシートにて確認、その後変更あれば随時保護者から報告して貰って変更している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・指示書は貰っていないが、保護者から聞き取り、情報は貰っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画策定しており、研修や訓練も年1回実施しています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3	・児の体調不良等は、速やかに保護者と連絡を取るようになっています	・緊急時に備えた訓練等、今後は実施の計画を行い、保護者にも周知していく

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の共通アプリで共有している</li> <li>・半年に1回事業所内で集約をし、事例の多いヒヤリハットについて検証する様にしています</li> </ul>	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月虐待防止委員会で報告をし、各事業所スタッフに共有している</li> <li>・虐待防止研修を年1回実施している</li> </ul>	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討するようにしています。</li> </ul> <p>検討内容は全スタッフに共有しています</p>	